正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

3月号 2022

ウクライナ：SNS でも高まる関心

SIMカードも緊急支援物資に！

赤十字国際委員会 @ICRC_jp

ルーマニア🇷🇴赤十字は、国境沿いのすべての支部からボランティアを派遣し、ウクライナ🇺🇦から避難してきた人に対して、食料や水、衛生用品などの援助物資を配付しています。

また、家族や大切な人と連絡を取り合えるように、SIMカードも配付しています。

Translate Tweet



Romanian Red Cross (Crucea Roșie Română)

3:36 PM · Feb 28, 2022 · Twitter Web App

696 Retweets 49 Quote Tweets 862 Likes

捕虜・死傷者の尊厳もリスペクト

赤十字国際委員会 @ICRC_jp

捕虜は #国際人道法 のもと守られています。
写真や映像、個人の詳細を公開することは、家族や大切な人たちにもさらなる苦痛を与えます。

これは、紛争で亡くなった方たちにも当てはまります。

捕虜も、死傷者も、人道的に、そして人間としての尊厳を尊重して対応しなければなりません。

Translate Tweet

> **Helen Durham** @HADurhamICRC · Mar 3
> Detainees are protected under international humanitarian law. This includes acts of violence or intimidation.
>
> People who have died should be treated humanely, and with dignity.
>
> Sharing images and details only causes more pain to their families and loved ones.

11:05 PM · Mar 3, 2022 · Twitter Web App

281 Retweets 7 Quote Tweets 334 Likes

【目次】

紛争の現場から

☞ 紛争激化・拡大で、ウクライナの住民の苦悩と恐怖はピークに

☞ ウクライナ人道危機：約310億円の資金援助を要請

世界のトレンド

☞ アニメで知ろう国際人道法！

☞ 自律型兵器システム：“人道法の守護者”ICRCの見解

日本人に知ってもらいたい

☞ シリアで障がい者に寄り添う日本人義肢装具士のリポート

☞ 国際女性デー企画「ICRCが出会った女性たち」：津田香都さん

☞ 代々木の杜で考える平和・人道支援・ＳＤＧｓ
☞ 広報インターン体験記

紛争の現場から



紛争激化・拡大で、ウクライナの住民の苦悩と恐怖はピークに

首都キーウ（キエフ）などの大都市をはじめ、市街地での被害が拡大しています。私たちは民間人を守るため、国際人道法上の義務を改めて紛争当事者に向けて訴えます。

声明全文はこちら



ウクライナ人道危機：約310億円の資金援助を要請

国際赤十字は、ウクライナ人道危機対応のため、総額２億5000万スイスフラン（約313億円）の資金援助を国際社会に呼びかけています。人道支援を届けるためのアクセスを改善し、活動の規模を迅速に拡大することができなければ、この先数百万の人々が耐え難い苦境に陥るだろうと私たちは懸念しています。

日本国内では、日本赤十字社が３月２日（水）～５月31日（火）までの期間、救援金を受け付けています。皆様のご支援をよろしくお願いします。

資金要請の詳細はこちら

日本赤十字社の救援金受付はこちら

世界のトレンド



アニメで知ろう国際人道法！

ション付きのアニメーションを４本ご紹介します！人道法の中でも重要な３つの原則や、国連憲章との違いなども分かり易く解説しているので、ぜひご覧ください。

人道的な視点からニュースを見ると、戦争による被害や弊害がより浮き彫りになります。

アニメ視聴はこちら



自律型兵器システム：“人道法の守護者”ICRCの見解

自律型兵器システムは、人間の介在なしに攻撃することができるため、人道的、法的、倫理的な観点からも、あらゆる議論を尽くさなければならないトピックです。ICRCは、自律型兵器システムの規制をめぐって、各国に対して３つの提言を行いました。

ICRCの提言・見解とは？

日本人に知ってもらいたい！



シリアで障がい者に寄り添う日本人義肢装具士のリポート

シリアのアレッポで、ICRCの義肢装具士として働く日本人職員・矢田盛夫さんによる活動報告。義肢装具士として働くことの難しさやリハビリ事業の課題、患者さんへの接し方など、普段なかなか聞くことのできない、現場ならではの興味深い内容が盛りだくさんです。

リポートはこちら



国際女性デー企画「ICRCが出会った女性たち」：津田香都さん

西日本を拠点に活動する日本赤十字社の津田香都（つだこうづ）さんはこれまで、イラクやハイチ、バングラデシュ、フィリピン、南スーダンなどの医療現場や地域の保健活動に

詳しくはこちら

駐日代表部だより



代々木の杜で考える平和・人道支援・ＳＤＧｓ：「昭憲皇太后基金」記念シンポジウム

明治天皇の皇后、昭憲皇太后は1912年、自然災害への備えや疾病予防等の平時活動を奨励するために10万円（現在の３億５千万円相当）を赤十字に寄付。この寄付をきっかけに創設された「昭憲皇太后基金」は、現在も続く世界最古の国際人道基金、国際開発援助の先駆けとして知られています。

同基金の創設110年を記念して、きたる４月２日（土）、明治神宮国際神道文化研究所と日本赤十字社と共催で、シンポジウムを実施します。世界における人道支援のはじまりから最前線の取り組みまで、幅広い活動を紹介します。今を生きる私たちは、脈々と続く国際支援とその志をどのように発展させることができるのか。ぜひご参加ください。

事前申し込みや詳細はこちら



広報インターン体験記

ICRC駐日代表部で５カ月間、広報インターンとして働いた福原玲於茄（ふくはられおな）さん。業務の内容や、特に印象に残っていることなど、今後の展望と共に語ってくれました。ICRCでのインターンシップに関心のある方は、ぜひご覧ください。

インターンとして働くとは？

その他のニュースはこちら

© 2022 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

INTUIT mailchimp